

2 北陸地方における向こう3か月の天候の 見通しについて

令和7年6月26日
令和7年度メディア連携協議会

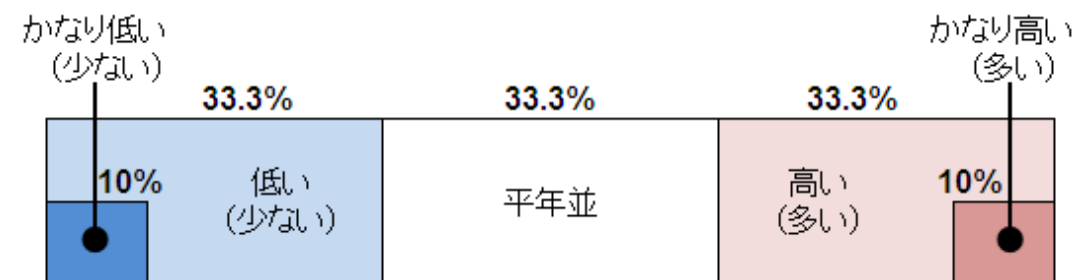
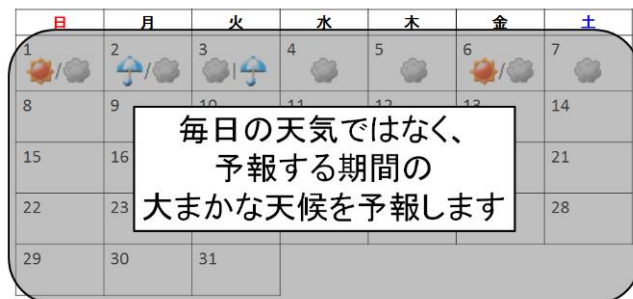
新潟地方気象台 気象防災情報調整官 河野

まずは、季節予報の特徴の「勘所」を簡単に…

- 季節予報は、天候の予報です（天気てんきの予報とは異なります）
- 天候とは、ある地域の、数日以上の平均的な天気の状態をいいます
- 予報の内容は、平年の気候に近いのか？それとも隔たるのか？です
- 平年の気候は、1991～2020年の30年間の平均としています（10年毎に更新）
 - ※気候=長い期間(通常は数十年間)の大気の総合した状態を気候という
- 予報要素としては、気温・降水量(=1および3か月予報)・日照時間(=1か月予報のみ)
- 季節予報では、3つの階級それぞれが実現される確率を予報します

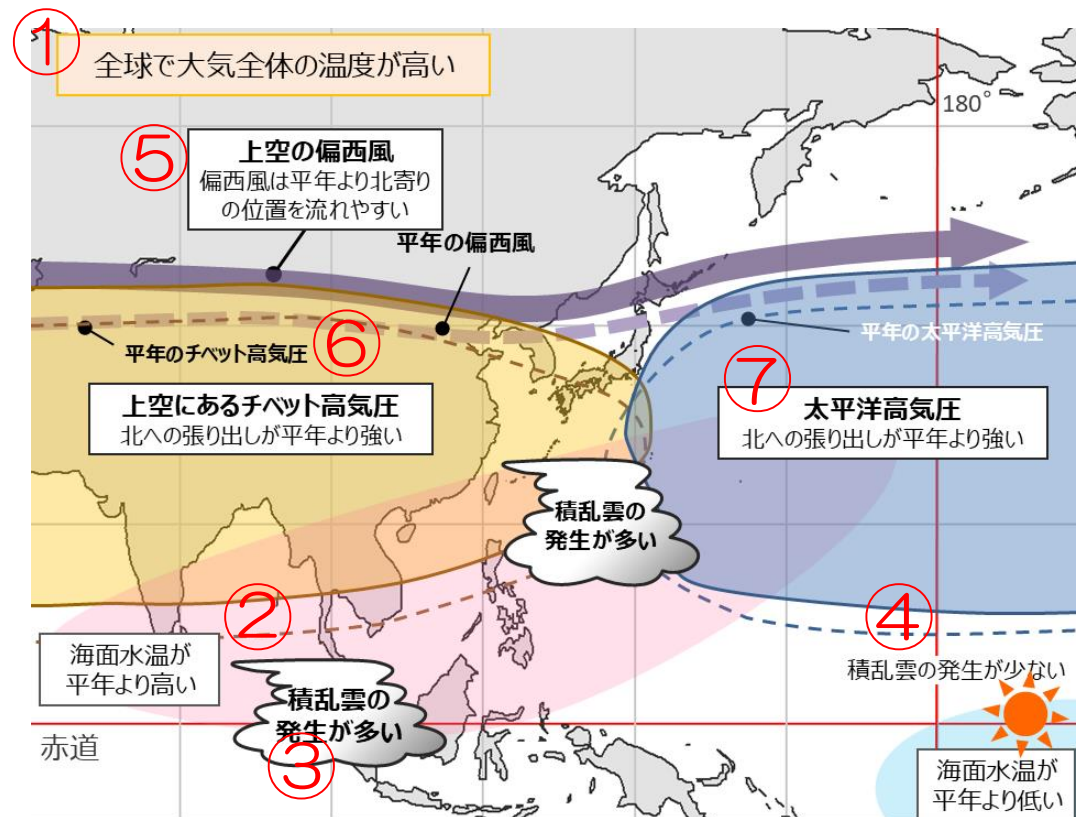
※階級 = 低い(少ない) 平年並 高い(多い)

- 気温であれば、30年間のデータを小さい順に並べて
下位10個の範囲を「低い」、上位10個を「高い」、中間の10個を「平年並」
というように階級を用意して、平年に「近い or 隔たる」を表現します（下図）
- 天候表現も同様で、「平年」との隔たりを予報します
例えば、「平年と同様に」「平年に比べ〇〇の日が多い(少ない)」など



3か月（7～9月）の予想される海洋と大気の特徴

- 地球温暖化の影響等により、全球で大気全体の温度が高いでしょう①。
- 海面水温は、太平洋赤道域の中部では低い一方、インド洋東部からフィリピンの東方海上にかけて高いでしょう②。
- このため、積乱雲の発生は、インド洋東部からフィリピンの東方海上にかけて多く③、太平洋中部の熱帯域では少ないでしょう④。
- これらの影響により、上空の偏西風は、平年より北寄りの位置を流れ⑤、チベット高気圧は、北への張り出しが平年より強いでしょう⑥。また、太平洋高気圧は、北への張り出しが平年より強いでしょう⑦。
- このため、北陸地方は暖かい空気に覆われやすいでしょう。



この図は、3か月を通して見たときの場の特徴を示す。

数値予報結果をもとにまとめた予想される海洋と大気の特徴

3か月予報（6～8月） 北陸地方

予報のポイント

- 暖かい空気に覆われやすいため、向こう3か月の気温は高いでしょう。
- 向こう3か月の降水量は、ほぼ平年並の見込みです。

	平均気温（向こう3か月）	降水量（向こう3か月）
北陸地方	低10 並30 高60% 高い見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
数値は予想される出現確率（％）です	平均気温（3か月） 低い確率（％） 50 40 40 50 高い確率（％） 以上 以上 以上 以上 平年並み40	降水量（3か月） 少ない確率（％） 50 40 40 50 多い確率（％） 以上 以上 以上 以上 平年並み40

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。

「平年並」がどの程度の値になるのかについては、参考資料（<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/sankou/hokuriku3.html>）をご覧ください。

文章による解説については、確率の大きさに応じた言葉で表現しています。詳しくは本資料末尾の「参考（確率予報の解説）」をご覧ください。

月別の天候 北陸地方

月別の天候

- 7月は、太平洋高気圧に覆われやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が少ない見込み。
- 8月、9月は、平年と同様の見込み。

7月	• 太平洋高気圧に覆われやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。
8月	• 平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
9月	• 天気は数日の周期で変わるでしょう。

月別の気温 北陸地方

月別の気温

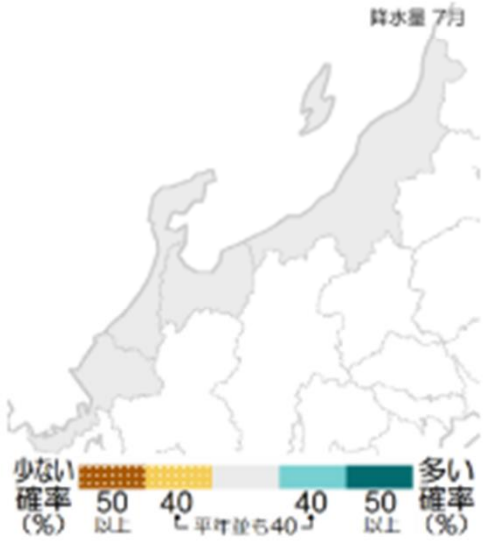
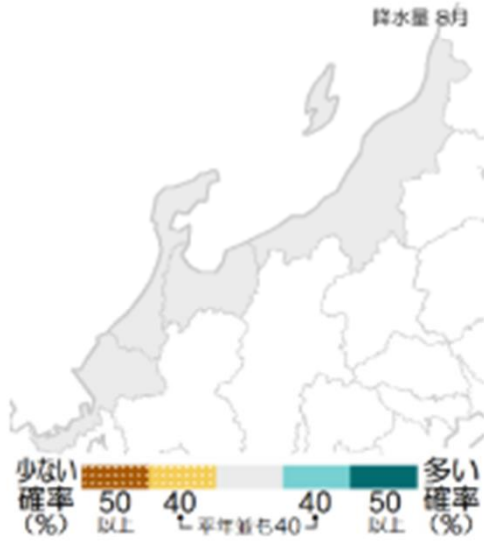
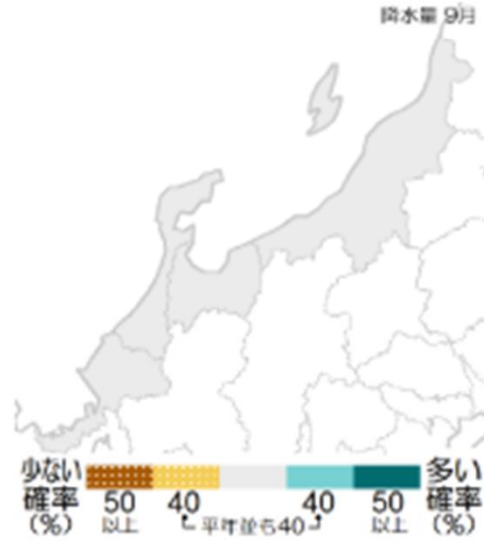
暖かい空気に覆われやすいため、各月とも高い見込み。

	平均気温 7月	平均気温 8月	平均気温 9月
北陸地方	低10 並30 高60% 高い見込み	低20 並30 高50% 高い見込み	低20 並30 高50% 高い見込み
数値は予想される出現確率 (%) です	平均気温 7月 低い確率 50 40 40 50 高い確率 (%) 以上 平均値も40以上 (%)	平均気温 8月 低い確率 50 40 40 50 高い確率 (%) 以上 平均値も40以上 (%)	平均気温 9月 低い確率 50 40 40 50 高い確率 (%) 以上 平均値も40以上 (%)

月別の降水量 北陸地方

月別の降水量

各月ともに、ほぼ平年並の見込み。

	降水量 7月	降水量 8月	降水量 9月
北陸地方	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
数値は予想される出現確率 (%) です			

下図は季節予報解説資料の例です。
北陸地方の3か月予報を表示していますが、他の地方に切り替えることも可能ですし、1か月、暖候期・寒候期予報にも切り替えることができます。



最新の季節予報:

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=season>

季節予報 解説資料:

<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/kaisetsu/>

季節予報の発表日（令和7年3月～令和8年3月）

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kisetsu_riyou/calendar/index.html

エルニーニョ監視速報（最新号）

https://www.data.jma.go.jp/cpd/elnino/kanshi_joho/kanshi_joho1.html

エルニーニョ/ラニーニャ現象に関する知識:

<https://www.data.jma.go.jp/cpd/data/elnino/learning/index.html>

➤ エルニーニョ/ラニーニャ現象とは:

<https://www.data.jma.go.jp/cpd/data/elnino/learning/faq/whatiselnino.html>

➤ 日本の天候に影響を及ぼすメカニズム:

<https://www.data.jma.go.jp/cpd/data/elnino/learning/faq/whatiselnino3.html>